



広島県	人口	2,843,990人【全国12位】 →前回調査(平成22年)より16,760人(0.6%)の減少
	世帯数	1,211,425世帯【全国11位】 →前回調査(平成22年)より26,458世帯(2.2%)の増加
庄原市	人口	37,000人【県内11位】 →前回調査(平成22年)より3,244人(8.1%)の減少
	世帯数	14,455世帯【県内11位】 →前回調査(平成22年)より814世帯(5.3%)の減少

公表資料

●広島県ホームページ「国勢調査」

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/toukei/kokuseityosa.html#h27>



●総務省統計局ホームページ「平成27年国勢調査」

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm>



国勢調査 2015

人口等基本集計を公表

行政管理課広報統計係 ☎0824-73-1159

総務省統計局は10月26日に、昨年10月1日を基準に実施した「平成27年国勢調査」の人口等基本集計を公表しました。

これを受け、広島県が広島県結果を公表したのでお知らせします。また、県と庄原市の人口の、前回調査からの変化は表の通りです。調査へのご協力ありがとうございました。

※この結果は、提出された調査票の審査や、疑義照会を経た精緻な値となっておりますので、総務省統計局が2月に公表した人口速報集計結果とは数値が異なります。

子どもの肌はとてもデリケートで、大人と比べると皮膚が薄く、細菌や化学物質の侵入を防ぐバリア機能が未熟です。そのため、さまざまな刺激により皮膚トラブルを起こしやすくなっています。

最近では、壊れた皮膚の細胞の隙間からアレルギーが侵入することによって食物アレルギーが引き起こされる場合があることが分かり、食物アレルギー予防のためにも皮膚を良い状態に保つことが必要とされています。

皮膚は汚れがたまったり、乾燥したりするとバリア機能が壊れてしまいます。スキンケアは赤ちゃんの時期から必要です。冬は特に乾燥しやすい季節なので、下記のポイントを参考にして、皮膚トラブルを予防しましょう。

- ▼泡が残らないようにしっかりと洗います。
 - ▼乾燥の原因になるため、石けんの使用は1日1回程度にする。
 - ▼洗った後はタオルで水気を吸い取るようにやさしく拭く。
 - ▼保湿剤を塗るなどして乾燥を防ぐ。
 - ▼日中の外出は日よけや帽子で紫外線を防ぐ。
 - ▼皮膚を傷つけないように爪は短く切っておく。
- ※皮膚トラブルを防ぐためには、日常生活において清潔や保湿を心がけることが基本ですが、症状によっては早めに小児科や皮膚科を受診して適切な治療を受けることも必要です。

母子保健 だより



子どものスキンケア

保健医療課健康推進係 ☎0824・73・1255



「皮膚トラブルを防ぐポイント」

- ▼石けんはネットなどで十分に泡立てる。
- ▼ゴシゴシこすらず手またはやわらかい布で優しく洗う。
- ▼汚れが残る部分（耳・首の後ろ、ひじ・ひざの内側と外側、足の付け根、脇の下）や汚れやすい部分（お尻、口周り、頭皮）をしっかりと洗う。

